

夏休みユニセフ教室「世界がもし100人の村だったら」ワークショップを8月22日に行いました

みやぎ生協文化会館ウィズを会場に、赤ちゃんはじめ小学生親子や経験豊富な大人の方々など102名が参加しました。ファシリテーターに 桜井高志さん（桜井・法貴グローバル研究所代表）を大分県からお招きしました。「入村証」に名前を書いて、「100人の村」に入ります。村には世界を感じられるような写真がたくさん掲げてあります。まさに「みんな地球に生きている」が実感できます。「入村試験問題」をみんなクリアし、正式な村人になりました。72億人を100人にすると、それぞれ何人になるか知ることができました。北米：5人、中南米：9人、ヨーロッパ：10人、ロシア：2人、アフリカ：13人、アジア：61人（中国：20人、インド：18人、日本：2人、その他：21人）、オーストラリア：0人、など。「文字の読める人」「きれいな水が飲める人」「5歳までに亡くなる子どもの人数」「豊かな国と貧しい国」を体験しました。「計算問題」挑戦では、テーブルと計算機が与えられた先進国と、地ベタで筆算するしかない途上国では不平等さを実感。「そっちはズルい」「なんで貸してくれと言わないの？」など。さまざまな人が参加しているので、意見がヒートアップしました。どうしたら世界の格差がなくなるのか、他人や他国を気遣うことや世界中で話し合うことの必要性を学びました。真剣にみんなが考えました。今日だけ・この村だけの考えに留めることなく、これからも考え、行動に移せるようにしたいものです。



サポーターとして、高校生と大学生が活躍してくれました。参加してくれた小中学生の活発な意見に、未来を感じる1日でした。

「いわさきちひろ複製画展」を開催しました・・・「世界中の子ども みんなに 平和としあわせを」

戦後70年の節目となる今年、みやぎ生協と共催で「いわさきちひろ 複製画展」を開催しました。全30作品を展示し、多くの方にご来場いただき、平和を守ることの大切さを考える機会となりました。8月29日（土）～8月31日（月）みやぎ生協文化会館ウィズにて。初日の29日は講師に竹迫祐子さん（安曇野ちひろ美術館副館長）をお迎えし「いわさきちひろ・平和への願い」講演会を開催しました。70余名が参加し、ちひろの生涯や時代背景、平和への思いなどをお話いただきました。講演を聞いてから見るちひろの絵は、意味深く、込められたメッセージを受け取ることができました。今後の開催は



9月2日（水）～4日（金）
みやぎ生協加賀野店（登米市中田町）
9月6日（日）～8日（火）
みやぎ生協太子堂店（仙台市太白区）
どうぞおでかけください。



渡辺祥子さんがご来場に。



3日間で200名の方が来場

「ガザから伝える」パレスチナ・ガザ地区から2人の青年を迎え講演会を予定していましたが、出国できずに内容が変更となりました。NPO法人地球のステージが2003年からガザ地区の子どもたちの心のケアを続けてきており、今年こそはガザの“友人”を迎えるべく準備をされていましたがとても残念です。普通に行き来ができるようになることを祈ります。来日が実現の折にはぜひお話を聞いてみましょう。